

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12309

地域組織活動費補助事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	5	家庭や地域における教育力の向上
施策	1	家庭や地域における教育力の向上
取組方針	2	地域における教育力の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		青少年教育費	
	大事業		青少年教育事業	
	中事業		地域組織活動費補助事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 青少年課 鷺山 宏和 435-1235
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	各地域において活動している母親クラブ・子どもクラブ等の団体の活動の推進及び相互連携による資質の向上を目的とする。		和歌山市地域活動連絡協議会に対する開催事業等の補助		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	和歌山市地域活動連絡協議会、和歌山市子ども会連絡会が行う事業に対する支援及び補助。地区協議会及び単位クラブへの補助。	和歌山市地域活動連絡協議会、和歌山市子ども会連絡会が行う事業に対する支援及び補助。地区協議会及び単位クラブへの補助。	和歌山市地域活動連絡協議会、和歌山市子ども会連絡会が行う事業に対する支援及び補助。地区協議会及び単位クラブへの補助。	和歌山市地域活動連絡協議会、和歌山市子ども会連絡会が行う事業に対する支援及び補助。地区協議会及び単位クラブへの補助。	和歌山市地域活動連絡協議会、和歌山市子ども会連絡会が行う事業に対する支援及び補助。地区協議会及び単位クラブへの補助。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,779	4,634	4,965	3,537	4,467	3,090	4,206	0	0	0
伸び率（%）	15.3%	11.9%	△26.8%	△23.7%	△10%	△12.6%	△5.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	11,988	13,107	12,887	12,565	12,740	6,768	6,768	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,988	13,107	12,887	12,565	12,740	6,768	6,768	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	600	270	450	180	300	157	300	0	0	0
市債	1,000	600	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	5,179	3,764	4,515	3,357	4,167	2,933	3,906	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.50	1.64	1.60	1.56	1.60	0.85	0.85	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	各地区地域活動連絡協議会補助金400千円、子どもクラブ活動支援補助金360千円、母親子どもクラブ交付金550千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助金等交付団体（単位クラブ）数	クラブ		目標値	70	70	55		
			実績値	53	36	27		
			達成度(%)	76%	51%	49%	%	%
和歌山市地域活動連絡協議会・和歌山市子ども会連絡会のイベント開催数	回		目標値	6	6	6		
			実績値	5	5	4		
			達成度(%)	83%	83%	66.6%	%	%
和歌山市地域活動連絡協議会・和歌山市子ども会連絡会のイベント参加者数	人		目標値	900	900	900		
			実績値	779	779	261		
			達成度(%)	86%	86%	29%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>現在の子供はゆとりがない生活、社会性の不足や倫理観の問題、自立の遅れなど様々な問題に直面している。この状況の中、地域組織活動は、子育ての学習とその経験を生かし、これらの問題に対して、遊びやスポーツなどを通して関わり、その中で子供達にゆとりやうらおいを育くむとともに、基礎的な能力の育成「生きる力」の充実を図っている。当該補助事業は地域組織活動を行う団体を支援するとともに、団体間の相互連携による資質の向上を図っている。</p> <p>なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染対策として子ども会スポーツ大会を中止、体験学習を県内に変更して日帰りにする等、事業を縮小した。</p>
見直し・改善内容	各団体と連携し、事業の充実に努める。